

自然環境調査に関する「いしかわ自然史塾」 人材養成プロジェクト

活動地域  石川県



研修会場ホテル前で受講生の集合写真

課 題

- ①3か年計画でいしかわ自然史塾を開講し、自然史調査員を30人認定する
- ②自然史塾の修了生を核とする新しい自然史ネットワークの構築を目指す

目 標

- ①初年度募集定員15人に対し、14人の受講生が集まり、9人を自然史調査員として認定
- ②自然史ネットワーク構築の意見交換会は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止



今後の
展望

2年目は、能登地区を中心に受講生を募集する予定で、講師、会場、野外実習地を調整中であり、募集に当たっては、能登地区の高等学校の生物部会の先生などへの働きかけを行い、高校生の受講参加を積極的に進める。

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

- ①いしかわ自然史塾は、6講座を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大のため、計画の見直しを行い、5講座の開催となった。
高校生2人を含む受講生14人のうち、9人を自然史調査員として認定した。(高校生は補習授業のため、一部欠席となり認定されなかった)
- ②自然史ネットワーク構築の意見交換会は、石川県が「まん延防止重点措置」の対象県に指定され、再三延長されたため中止となった。
なお、広報・調査活動については、地元新聞での報道、機関誌への寄稿、広報用パンフの作成、石川県立自然史資料館でのパネル展の開催を実施した。



海士岬海岸での植生調査の実習

受講生

14人

自然史調査員認定

9人

今年度計画の達成度

64%

目標達成度

30%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルス感染拡大のため、計画の見直しを余儀なくされ、講師との調整に努めたが、5講座の開催となった。

■工夫した点

新型コロナウイルス感染対策として、広い研修会場を使用したほか、実習地への移動も極力大型バスを手配した。



〒920-1147

石川県金沢市銚子町1441番地

E-mail : info-c@n-muse-ishikawa.or.jp

HP : <https://ishikawanaturehistorycenter.com/>